

数学 出題意図

問題構成

- 1 式と証明，複素数と方程式，場合の数と確率
- 2 場合の数と確率，2 次関数，数と式
- 3 三角関数，集合と命題
- 4 微分法と積分法
- 5 図形と計量
- 6 数列

出題意図

高校の「数学」の学習指導要領の範囲から，重要事項の習熟および基本的計算技能の修得を試す問題を出題しました。また，基礎知識が断片的ではなく体系的に整理され，さまざまな場面に対応して柔軟に応用できるかを確認するため，複数分野にまたがる融合問題を出題しました。さらに，問題の意味や構造を正しく把握し，論理的に解答できるかを試すため，誘導形式の問題を出題しました。問題文を丁寧に読み取り，実験・推論を行うことで，数学的法則性を発見し，解答に導く能力があるかを試しています。

学習アドバイス

- 特定の分野に偏ることなく出題されているため，苦手分野を作らず，満遍なく学習することを心がけるとよいです。
- 基本～標準問題を中心に構成されているので，教科書および傍用問題集を利用した学習を中心とし，多くの問題を解くことが望ましいです。
- 標準的・典型的入試問題を集めた問題集に取り組んで，実力を伸ばしましょう。計算力だけでなく深い分析力・思考力を問う問題が出題されているので，問題集に取り組む際にはじっくり考えて自力で答を導くこと

が重要です。

- 誘導形式の問題においては、問題文を正確に読み取り、設定を迅速に理解する必要があります。形式に慣れるためには、過去問を解くのがよいでしょう。何回も解き、慣れておくことをおすすめします。
- 経済学部ではマークセンス方式による出題を行っているため、過去問を入手し、早い時期にその形式に慣れるのがよいでしょう。また、解答の際には時間配分を意識して解くことが大切です。
- 計算量がやや多い問題が出題されますが、そうした問題を最後まで丁寧にやりきるように普段から意識して取り組みましょう。
- 日常の学習において論理的に深く考える習慣を身につけておいてください。最後まで粘り強く考え抜くことが重要です。また、機械的な計算を行うのみでなく、式変形や操作の意味を考えることや、導出した結果を手がかりに次の問題を攻略する習慣を身につけましょう。